

復興は健康から

いわて東北M・Mの取り組み

ここからは二戸、久慈、宮古地域で平成14～16年の間に市町村が行った健康診査を受診された2万6469人の方を対象とした研究を説明したい。コホートとは学術用語で、特定の人の集団のこと。基本的には何万人、何千人の集団を指す。健康調査をさせていた

コホート事業とは？

ここに同意した人は、住民異動情報をもとに生存、死亡、転出を確認した。岩手県ではがん、脳卒中、心疾患は発症登録を行っている。そういったデータともリンクして、どういった方々が発症したかを調べる。行政情報やレセプト情報も用いて、同意した方々の要介護認定や医療費についても調べた。

平成14年から今まで11年間、健康でいるかどうかを調べてきた。どんな課題があるのかをコホート事業からみてみると、岩手県では血圧が高いというところもあるが、肥満の方が多

気仙のデータを予防に

岩手医大・丹野准教授の講演より②

女性

女性には全ての自治体で全国平均を上回る。

何が問題なのか。BMI 25くらいが、統計学的にいちばん長生きする。27・5を超えてくると問題。30を超えると、見た目で「太っている」と分かるライン。いわゆる「太りすぎ」が全国より2倍くらい多い。これが問題だと、私は考えてい

女性

女性に肥満が病氣と全く関係がないのかと言え

女性に肥満が病氣と全く関係がないのかと言え

ける確率が高くなる。どうして介護認定を受

ける確率が高くなるのか。それは腰が痛いとか、膝が痛いとかの整形外科疾患が関係していると考えられる。介護度は高くないが、肥満の方では自立して歩くことに不自由を感じている方が多いかもしれない。

もう一つ、この研究で分かったことがある。男性のやせている人は脳出異常、脂質異常、喫煙の

の財布はもちろん、町や国にも響く。

理論上、全員が危険因子ゼロになったら、医療費を20%削減することが出来る。だが3個以上の人をむりやりゼロにするのではなくて、今ゼロの人を3個以上にしないことが重要。コホート研究を長期間続けることで、皆さんの健康課題を明らかにし、皆さん自身

に注意すべきことをお返しできると考えている。これを示せるのは、皆さんのおかげ、皆さんの協力により、医学の進歩に非常に役立つデータが出てきた。

